

学会/受賞報告書

YIA(Young Investigator's Award) 最優秀賞受賞

東北大学大学院・医学系研究科・循環器病態学分野・助教
佐藤 公雄

今回私は、6月14日～18日京都にて開催されました第6回国際NO学会において、Young Investigator's Awardを受賞いたしました。NO（一酸化窒素）は生体の恒常性の維持に極めて重要な役割を果たしています。国際NO学会は、1998年にNO研究者3名がノーベル賞を受賞したことを契機に設立された国際学会で、2年に1度世界各地で開催されてきました。本賞は世界のNO（一酸化窒素）および酸化ストレス関連分子の研究発展と優秀な若手研究者の育成を目的として設立されました。

今回私は、酸化ストレスによって血管平滑筋細胞より Cyclophilin A (CyPA)が Rho-kinase 依存性に分泌され、分泌された細胞外 CyPA はさらに autocrine/paracrine 的に作用して酸化ストレス増幅系を形成し、内皮障害(eNOS 低下) から動脈硬化病変を進行させることを報告いたしました。特に、ヒトでの動脈硬化プラーク破綻機構にも CyPA が深く関わることを、当科で心臓カテーテル治療を受けられた心筋梗塞患者の冠動脈プラーク破綻部位より得られた組織および血清を用いた検討により確認し、報告いたしました。これらの報告は、これまで遺伝子改変マウスを用いて行った基礎研究を発展させたもので、CyPA のヒトでの重要性について確認した世界で初めての報告です。

本研究は循環器内科やカテーテル検査室の全スタッフ、当科の多くの研究補助員、東北大学病理部の協力で初めて成し遂げることであった、基礎研究の成果を臨床応用しうる可能性を示した貴重な研究です。本賞を受賞できたのも、御指導頂きました下川教授を初めとする、多くの先生方・病院・大学スタッフの御陰であります。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

このような名誉ある賞を頂いたことを喜ばしく思うと同時に、本賞に恥じぬよう一層の努力をいたしますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

